

しあわせ

vol.16
2018年9月



「保津川の歴史」

保津川下りは、亀岡から嵐山までの約16キロの溪流を下る舟下りです。保津川は、角倉了以が江戸時代初期の慶長11年から半年余りかけて開削を行い、丹波から米および材木などの物資搬送が、険しい山道を通ることなく保津川の水運によって京の都へ運ばれるようになりました。筏や荷船が姿を消した今では、遊船として観光客を乗せた川下りとなっています。

「京都じっくり観光」より

トピックス 会長のごあいさつ

社会福祉法人 京都社会事業財団 会長 野口 雅 滋

施設ナウ! 各施設の平成29年度 事業報告

お知らせ 榎の木ホーム開設しました!

法人職員 2,300名



社会福祉法人 京都社会事業財団
Kyoto Social Welfare Foundation

各施設の所在地

京都桂病院
京都桂看護専門学校
にしがも舟山庵
にしがも透析クリニック
成逸センター
京都厚生園
京都厚生園松尾の家
にしがも舟山庵
にしがも透析クリニック
西陣病院
北野保育園
京都厚生園山田の家
つばさ園・ももの木学園
ゆずの木ホーム
榎の木ホーム
松陽児童館
ライフ・イン京都
北野保育園
成逸センター
西陣病院
北野保育園
二条保育園
二条保育園
昭和保护園
京都桂川園
玉頭の家
京都桂川園久世障害サービスセンターショートステイ



社会福祉法人 京都社会事業財団
Kyoto Social Welfare Foundation

法人本部 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地(京都桂病院内) TEL075-391-5811代(内線8606) / FAX075-393-0140
URL <http://kyoto-swf.com> E-mail honbu@kyoto-swf.com

季刊広報誌 しあわせ 発行/社会福祉法人 京都社会事業財団 編集/しあわせ編集委員会 発行日/2018年9月25日 印刷/有限会社 アクト

施設ナウ!

各施設の平成29年度 事業報告

各施設の最新情報をお届けします!

つばさ園

【事業総括】

児童心理治療施設ももの木学園との合築から2年が経ち、子どもたちは暴力や物の破損が減る等、落ちついた生活を送れるようになってきました。特に、何事も“話し合う”という実践が、子どもたちの落ち着きに重要であると確信できた1年でした。

〒615-8256
京都市西京区山田平尾町51-28
TEL 075-381-3650
FAX 075-393-4316
E-mail: tsubasa@rondo.ocn.ne.jp

重点項目

- 1 職員の育成・スーパービジョン 合同の研修等重ねる中で、職員はそれぞれ力をつけ、子どもへの実践に当たっている。
- 2 性暴力・性虐待対応の研修 外部講師を招いての研修2回、園内での研修は4回行った。
- 3 不登校対策 個別対応を進め一定落ち着いてはきたが、一人一人に対する学習の保障はまだ不十分。
- 4 方法論の明文化 ももの木学園の施設長を中心に進めている。
- 5 自立支援 大学等に進学した5名の子どもは無事進級。今年度の高卒児童は、進学1、就職3。
- 6 里親推進 今後の課題。



ももの木学園

【事業総括】

- 4月当初、入所児童数は23名の在籍。29年度中に、3名の退所児童、8名の入所児童があり、年度末で28名の入所児童数となりました。通所児童数は、9名でスタートし、1名増の4名の退所があり、6名となりました。
- 石坂施設長が、2年間の実践を通しての治療理論の一考察を、児童心理治療施設研究紀要「心理治療と治療教育」に投稿しました。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL 075-381-3699 / FAX 075-393-4316
E-mail: momonoki@sage.ocn.ne.jp

重点項目

- 1 事業の確立及び継続 入所児童は増加。荒れていた子どもたちは、落ち着いてきている。
- 2 人材確保と育成 心理士2名増員。研修に積極的に参加。
- 3 登校できない子どもへの対策 訪問学習の実施。
- 4 治療構造に関して 治療構造の明文化。



松陽児童館

【事業総括】

利用者のニーズに応えながら、自由来館の子どもたちが参加できる事業を実施しました。地域の方に児童館に気軽に来てもらう事により地域交流を進めることが出来たと思っています。学童クラブは登録人数が増加するなか、限られたスペースで事故なく1年を無事に過ごすことが出来ました。また第三者評価を受審したことにより、更なる児童館運営の充実を目指していきます。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL 075-392-6311 / FAX 075-392-6312
URL <http://www.kyo-yancha.ne.jp/syouyou/index.html>
E-mail: syouyou@kyo-yancha.ne.jp

重点項目

- 1 児童館事業として 地域の全ての子どもとその保護者を対象に子育て支援、健全育成を援助する活動
- 2 学童クラブ事業では昼間留守家庭児童に安心安全の生活の場の提供と一人ひとりの状況に応じた支援
- 3 地域子育て支援連絡会の基幹ステーションとして、地域子ども関係機関・施設と連携
- 4 職員の資質向上を目指して研修



会長のごあいさつ

災害への備え、再点検を。



社会福祉法人 京都社会事業財団

会長 野口 雅 滋

今年も猛暑が続きましたが、どうも日本だけの現象ではないようです。世界的に猛暑になっており、欧米でも気温が40度を超える都市が続出するなど、いよいよ地球温暖化による気候変動が現実のものとなりだしたのではとの不安がつります。7月には豪雨が西日本を襲い、広島や岡山では大きな被害が発生しています。京都でも5名の方が亡くなられました。被災された皆様からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りいたしております。

豪雨の2週間前の6月18日には大阪府北部地震も起きました。京都市内でも震度が5強というところで、いよいよ京都も大震災に襲われたかと心配された方も多かったのではないかと思います。今回の地震や豪雨で法人内の各施設では、大きな物的被害は報告されていませんが、今回、もう少し酷ければ大きな被害に繋がった可能性のある災害を経験し、これを機会に、大規模災害への備えを再検討したいと思えます。当法人が行っている事業の中には、入所事業

と通所事業があります。入所事業では、如何にその場で入所者の安全を確保するかが最重要課題になります。洪水での避難指示が出たときには、入所者全員を2階に避難させるというマニュアルを持つ施設があります。しかし、限られた職員数で、寝たきりの方も含む多くの入所者を2階に避難させることが本当に安全確保なのか、再検討の必要があります。地震の時はエレベーター(EV)が止まり、業者による復旧が必須です。EVが止まると、患者や入所者の移送ができず、多くの機能が停止します。各施設の職員による復旧を認めてもらえないかも知れない合わせ中ですが、困難なようです。

通所事業は、被災時にその事業が実施可能かどうかの判断が重要になりますが、現在明確な判断基準は存在しません。洪水での避難指示が出たときや、地震による大規模災害時における通所事業実施可否の判断は、行政も巻き込んで基準作成の検討が必要と考えていますが、最終的には事業所ごとの判断も重要になりそうです。今回の地震は、丁度出勤時間と重なりました

が、出勤を終えている職員が多く、どちらかといえば帰宅困難者への対応を考える必要があります。その日の帰宅だけでなく、次の日の出勤のことも考えて、施設内で宿泊場所を確保したり、ホテルの部屋を用意したりするなどの対応を取った施設もありました。豪雨では、交通機関が不通になり出勤不可能になった地区も出ました。そもそも、避難指示が出ているところに、職員を出勤させて良いのかとの意見もあります。災害時の出勤基準の作成も、今後の課題です。

今回の災害でも、電話など通常の連絡方法は不通になり、「LINE」などのSNSだけが繋がるという状況になりました。今まで、セキュリティの問題もあり、既存のSNSは、法人内の連絡に使用してきませんでした。しかし、今回の経験を踏まえ、SNSによる、施設とご利用者間、職員間、法人内施設間の連絡網を構築しようとしています。今回の災害を契機として、何時来るかわからない大災害への備えを整えていきたいと思えます。

北野保育園

【事業総括】

- 「パワーある保育の実践」「いのちと人権をはぐくむ子育て支援」民間保育園ならではの柔軟性・積極性・独自性を生かし、子どもたちの人権を守り最善の利益を考え、豊かな保育内容の発展と保育機能の一層の充実につとめました。
- 「食育の推進」「食べる楽しみをはぐくむ保育」を、利用者等に対して、発信すると同時に、食物アレルギー児であっても、出来る限り、皆と同じ給食を喫食する喜びを与えられるよう尽力しました。

重点項目

- 1 待機児童解消促進事業
(産休明け・育休明け保育の推進)
- 2 一時預かり事業・障がい児保育事業
- 3 地域活動事業
(翔鸞地域子育て支援ステーション事業・小学校や地域との連携・世代間交流)



〒602-8318 京都市上京区七本松通五辻上る老松町103-60
TEL 075-462-6491 / FAX 075-462-9128
URL <http://www.kyoto-kitanohoikuen.jp/>

京都厚生園

【事業総括】

「京都市介護予防・日常生活支援総合事業」が開始されて、当園のデイサービスセンター（介護予防通所介護）、地域介護予防推進センター、地域包括支援センター（介護予防支援事業）などの事業の再編成となりました。また、京都桂病院が受託された「認知症初期集中支援モデル事業」に対して、認定チーム員（地域包括支援センター）や「だいだいの木」（認知症カフェ）などが協力しました。経営面では、事業縮小に加えて各事業の稼働状況の低下が課題となりました。

重点項目

- 1 人材確保と育成
- 2 経営基盤の確立・事業の継続性
- 3 地域との連携・地域貢献活動の推進



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地
TEL 075-391-7870 / FAX 075-392-0191
URL <http://www.kyotokouseien.com/>
E-mail: kswf@kyotokouseien.com

二条保育園

【事業総括】

保育士等のキャリアアップの仕組に連動した職員処遇改善Ⅱが平成29年度から実施されました。全職員の処遇改善ではなく、園児数に応じた職員のみが対象となる制度で支給には研修要件が有ります。二条保育園では職員23名の内9名が支給対象です。職務に応じ支給金額は月額4万円から月額5千円と差が有ります。研修履修時間は総計173時間で、研修参加で現場が手薄になる事が懸念されましたが、平成29年度は研修要件が見送りになりました。平成30年度に向けて保育現場が苦勞することが無いように研修の有り方を構築しました。

重点項目

- 1 園児の健康管理：朝の登園時の園児の視診の重要性を再認識し、登園完了時には職員全員が園児の情報共有が出来るよう仕組みを整えました。
- 2 園児の育成：3歳・4歳・5歳各クラスの保育展開について議論を進めました。子どもの主体性を大事にしつつ、自己抑制の心を育むには、「遊び」の質と広がりが必要である事の原点を振り返り、各クラスの連携のもと保育展開を進めました。
- 3 施設整備：屋上の防水工事と屋上ゴムチップ塗装を実施しました。



〒604-8404 京都市中京区聚楽廻東町7
TEL 075-841-0139 / FAX 075-841-6019
URL <http://www.nijo-hoikuen.sakura.ne.jp>

京都桂川園

【事業総括】

高齢部門・障害部門とも、制度上の変化や他競合施設の存在等年々厳しさを増し、今まで以上に当園が持つ経営資源を活用することが必要となっています。また、支援を見つめなおすべき事案が発生する等、職員育成において多くの課題が残されました。園長の交代もあり、より一層総合福祉施設としての意義を再確認し、職員全員で利用者視点に立ちながら、ケア向上に取り組み平成30年度に引き継いでいきます。

重点項目

- 1 地域の福祉拠点としての住民のニーズを支える
- 2 利用する人もそれをサポートする職員もポジティブになる
- 3 ゆるやかで確実な変革を



〒615-8033 京都市西京区下津林東大般若町32
TEL 075-391-1675(代) / FAX 075-391-1640
URL <http://www.katsuragawaen.com/>
E-mail: info@katsuragawaen.com

昭和保育園

【事業総括】

昨年より取りかかった職員体制の組織化が少しずつ機能し、一人ひとりに力がつき「良質の保育の提供」につながりました。保育内容はなるべくシンプルにし安定化を図りました。また防火・防災の見直しについては、マニュアルの再確認や施設の点検修理を実施、さらに働く職員の子育て事情や、健康状態を考慮した勤務体系に柔軟に対応し、健康的な職場環境作りに努めました。

重点項目

- 1 保育・安全で健康的な生活環境の設定と丁寧な保育
- 2 地域の子育て支援・ホッとする場所の提供
- 3 職員の育成・キャリアアップの研修と健康管理
- 4 施設の安全管理・屋上の安全補修工事



〒605-0994 京都市東山区鞆町七条下ル一橋宮ノ内町15-4
TEL 075-561-0091 / FAX 075-561-0743
URL <http://www.showahoikuen.net>
E-mail: showa.renga@showahoikuen.net

にしがも舟山庵

【事業総括】

病や老いにより自分らしく生きづらくなった人々に、社会福祉の担い手としてどのように向き合い何を成すべきか、現場は葛藤の日々です。平成29年度は、そのような本質的な視点をもって職員間で語り合うことを念頭に置き、従来のシステム充実に着手しました。利用実績では、稼働率は昨年度の微増に留まりました。その背景には、入退居の多いことが挙げられます。医療との連携、看取り介護の対応力がますます求められる所です。

重点項目

- 1 入居者のQOLの増進
事故の再発防止対応、医療との連携強化等
- 2 職員の育成と就業環境の向上
スーパーバイザー、エキスパート機能の設置等
- 3 安定的経営基盤の確保
職員のコスト意識の定着等
- 4 地域との連携・貢献活動の推進



〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1
TEL 075-495-1121 / FAX 075-495-1161
URL <http://funayamaan.com/>
E-mail: funayamaan@room.ocn.ne.jp

京都桂看護専門学校

【事業総括】

平成29年度の学生数は、新入生43名に在学学生82名を加え3学年125名での運営となりました。平成30年度4月入学予定者の募集については、10・11・1月に実施した推薦・一般入学者選抜試験において114名の応募があり、選考の結果39名が入学決定しています。平成30年3月の卒業生は34名で、全員が看護師国家試験に合格し、その内、32名が法人内施設(京都桂病院)へ入職いたしました。

重点項目

- 1 教育活動の充実: 実習指導教員1名の採用。講師会議の開催。
- 2 学習環境の整備: 学生用プリンター等の一部更新。旧館漏水対策工事。
- 3 質の高い学生の確保: 学校公開・説明会の開催。学生寮改修工事の施工。



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-14
TEL 075-381-0971 / FAX 075-382-5445
URL <http://www.katsura-nsc.net>
E-mail: katsura-nsc@nifty.com

京都桂病院

【事業総括】

創立80周年を迎え、地域医療支援病院、地域がん診療拠点病院として高度急性期・急性期の質の高い医療を提供し地域に貢献します。平成29年度の行動方針は「連携の充実と発展」とし地域および院内の連携の充実と発展を目指しました。新入院患者数や救急入院患者数は増加しましたが4月から8月まで病床稼働率がふるいままでした。また、脳神経外科を再編し血管内治療も積極的に行い、脳神経内科と協同して脳卒中センターを開設しました。

重点項目

- 1 高度急性期・急性期病院としての役割を果たすべく地域と協同した。
- 2 地域に安全・安心な医療を提供できるように地域との連携を深めた。
- 3 院内では救急を含めチーム医療を推進し、多職種で病院の課題・将来像を話し合った。



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地
TEL 075-391-5811 / FAX 075-381-4224
URL <http://www.katsura.com> E-mail: info@katsura.com

ライフ・イン京都

【事業総括】

平成29年度は、大幅な組織変更を実施し基盤強化を図り、就業規則の改定を行ったほか、今後必要となってくる大規模改修や建て替え等に向けた積立を行うなど、将来に備える一歩を踏み出しました。また、共用施設の改修工事を行い、ご入居者の居住環境の改善を図りました。

最重点項目に掲げ取り組んだ入居推進については、新規の獲得が進み経営状況は上向きとなってきています。

重点項目

- 1 入居推進と経営基盤の確立
ランキング雑誌では2年連続で京都府1位となりました。
- 2 人材確保と育成
- 3 居住環境の改善・組織体制の見直し・地域行事の継続実施



〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-2
TEL 075-381-1870 / FAX 075-381-1899
URL <http://www.lifeinkyoto.com> E-mail: kswf@lifeinkyoto.or.jp

西陣病院

【事業総括】

西陣病院は、設立当初から「地域に密着した良質な医療を高いレベルで提供する」ことを目標としており、平成29年度は病院長より全職員に、改めて西陣病院の地域での役割と基本方針の確認を行い、各職員の総力を挙げて取り組みました。「近隣患者」「かかりつけ患者」「紹介患者」への対応を再度共有したことで、西陣病院の強みであるチーム医療を再認識する事ができ、平成29年度も順調な成績で終えることができました。

重点項目

- 1 地域ニーズの再認識による、西陣病院の医療体制(チーム医療)の再認識
- 2 透析患者の確保
- 3 第三者評価(日本医療機能評価機構による)の受審による、医療の標準化、見直し



〒602-8319 京都市上京区五辻通六軒町西入溝前町1035番地
TEL 075-461-8800 / FAX 075-461-5514
URL <http://www.nishijinhp.com> (URLが変わりました)
E-mail: nisijin@nisijin.net

にしがも透析クリニック

【事業総括】

平成29年度の目標を「安定した維持透析と自立した日常生活への支援」とし、合理的で健全な診療、運営を目指し努力を重ねてきました。透析患者の診療、にしがも舟山庵入所者の健康管理及び一般診療、泌尿器科、慢性腎臓病ほか通常の外来診療の実績は着実に成果を得ています。今後も社会福祉法人の一員であるとの基本に立ち、泌尿器科(透析)の診療を通じ、合理的で健全な診療、運営を継続し、地域医療に貢献する所存です。

重点項目

- 1 西陣病院、にしがも舟山庵との連携に加え、在宅医療に携わる医師や看護師との連携
- 2 看取りや終末期医療に対する取り組み及び認知症への対応
- 3 透析ベッドの効率良い運用



〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3番地の1
TEL 075-495-1131 / FAX 075-495-1144
E-mail: nishigamo-hdc@room.ocn.ne.jp

樫の木ホーム 開設しました!

地域小規模児童養護施設『ゆず木ホーム』を開設して早7年。地域の方々、小中学校の先生、そして宍陰の自然に支えられ、穏やかな日々を過ごしております。そんな中で「高校生になっても地域小規模から通いたい」という子どもたちの要望と「近くで連携を取り合えるもう一つの地域小規模がほしい」という職員の思いと、願ったりかなったりの好条件の「お家」との出会いが重なり、2つ目の地域小規模児童養護施設『樫の木ホーム』を開設する運びとなりました。小学生2人、高校生2人、就労する者1人の5名でのスタートです。今後ともご支援の程よろしくお願いたします。お近くへお越しの際は是非お立ち寄りください。

